

J R 東海労申第 3 4 号  
2 0 1 8 年 2 月 2 日

東海旅客鉄道株式会社  
代表取締役社長 柘植 康英 殿

J R 東海労働組合  
中央執行委員長 小林 光昭

### 新幹線大井車両基地における労働災害に関する団体交渉開催の申し入れ

1 月 19 日、新幹線大井車両基地第二検修庫において重大な労働災害が発生した。被災した方は、協力会社・新幹線メンテナンス東海大井日勤事業所の社員であった。大井車両基地の設備不具合については、再三再四、特に J R 東海労新幹線地本が指摘してきた。これに対する会社の無対応がこの労働災害を発生させたのであり、J R 東海労中央本部として看過できない問題である。

従って、以下のとおり申し入れるので、団体交渉を開催すること。

#### 記

1. この労働災害について、発生から被災者を医療機関に収容するまでの詳細を時系列で明らかにすること。また、被災者の診断結果と治癒見込み期間を明らかにすること。
2. この労働災害の原因を明らかにすること。
3. 会社は大井車両基地の老朽化について、J R 東海労が再三再四指摘してきたことから、承知していたはずである。にもかかわらずその不具合、老朽化を放置したことがこの労働災害の根本原因であり、結果として協力会社の社員に怪我を負わせたのである。見解を示すこと。
4. 全社的に設備の不具合、老朽化を調査し対策を行うこと。
5. 前項の内容について労働組合に明らかにすること。
6. 会社はリニア中央新幹線建設のため、コストダウンに躍起になっている。これ以上のコストダウンの追求はやめ、労働者が安心して働ける職場環境を整備すべきである。見解を示すこと。
7. リニア中央新幹線建設は中止すること。

以上